

## 石西礁湖自然再生事業 全体構想 概要

第1期 平成19年 9月作成

## 目標

短期目標(達成期間10年)と長期目標(達成期間30年)を定めてサンゴ礁生態系の再生を目指す。  
 短期目標: サンゴ礁生態系の回復のきざしが見られるようにする。そのために環境負荷を積極的に軽減する。  
 長期目標: 人と自然との健全な関わりを実現し、1972年の国立公園指定当時の豊かなサンゴ礁の姿を取り戻す。

## 課題

- 赤土流出、家庭排水や産業排水の流入、化学物質の流出
- 白化を引き起こす水温上昇
- オニヒトデやシロレイシガイダマシ等の食害
- 船の投錨、過度な漁業、漂着ゴミ(廃油ボール等)

## 石西礁湖自然再生協議会

平成18年 2月に組織化  
 令和 2年 2月時点で構成員数122  
 個人(専門家を含む)41、団体46、  
 関係地方公共団体26、関係行政機関9

## 対象区域

重要な区域(石西礁湖)と関連する区域(石垣島・西表島周辺海域)の両区域

## 取組

- ・ 攪乱要因の除去(オニヒトデ除去、赤土流出防止対策)
- ・ 良好な環境創生(サンゴ礁・沿岸域の生態系の再生や環境に配慮した海域における構造物の整備)
- ・ 持続可能な利用(適切な利用の推進、保護区等の指定の検討)
- ・ 意識の向上・広報啓発
- ・ 調査研究・モニタリング
- ・ 活動の継続

## 石西礁湖における自然再生の原則と将来像

マングローブ林、藻場、干潟を含むサンゴ礁域の自然再生を目指す。従って、サンゴ群集の修復だけでなく、サンゴ礁域に関連する生態系についても、必要な取り組みを進めていくこととする。そして、サンゴ礁生態系の劣化をもたらしている環境負荷を積極的に軽減していくことはもちろん、自然が持つ回復力を活かし、それを手助けする形で必要な取組を実施していくことを基本とする。

## ◆自然再生の原則

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ①統合的なアプローチ      | ②自然の再生力の利用        |
| ③科学的認識          | ④予防原則             |
| ⑤地域産業と自然再生の両立   | ⑥順応的管理            |
| ⑦継続的・実行可能な取組の実施 | ⑧多様な主体の参加による連携・協働 |
| ⑨情報公開           | ⑩環境教育             |

## ◆未来の石西礁湖のイメージ

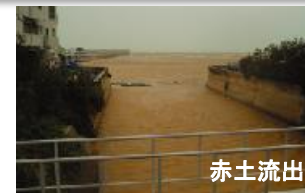
山と森と海と人々がつながり、岸近くにもサンゴが育まれている。透きとおった海の中を、クジラブダイが群れ泳ぎ、ギーラが湧き、サンゴのお花畑が咲き誇っている。イノーは、モズクとアーサ採りのオバーで賑わい、サバニの上のオジーは今日も笑顔で帰ってきた。夏の日差しに、水しぶきをあげてはしゃぐ子どもたちの白い歯が眩しい。



サンゴ礁



サンゴの白化



赤土流出



オニヒトデ